

京都山城総合医療センター  
第五次経営計画進捗状況  
(令和5年度上半期報告)

令和5年11月

国民健康保険山城病院組合



# 目 次

1. 経営計画主要項目
2. 経営計画の進捗状況
3. 上期経営状況



# 1. 第五次経営計画主要項目

## (1) 計画期間

令和4年度から令和6年度までの3カ年とする。

来るべき2025年に向け、山城南医療圏における地域医療支援病院として、地域包括ケアシステムの構築を推進する。

## (2) 重点テーマ及び取り組み内容

山城南医療圏における地域完結型医療を目指すとともに、限られた医療・介護資源を有効に活用し、持続的かつ安定的な医療提供体制の構築に向け、次の重点テーマに取り組むこととする。

重点テーマ	数値目標（令和6年度）
(1) 経営の安定化	◇延入院患者数 年間10万人以上（回復期病棟含む） ◇急性期病床利用率 80%以上 ◇回復期病床利用率 90%以上 ◇総収支比率※1 100%以上（営業収支比率※2 100%） ◇職員の適正な人員配置（給与費率55%以下） ◇年度末における資金残高の増を目指した安定した経営
(2) 地域連携の強化	◇診療依頼を断らない体制の強化 ◇紹介率85%以上 ◇逆紹介率100%以上 ◇地域の医療従事者研修の充実
(3) 救急医療の充実	◇時間内救急応需率100% ◇救急総受容率90%以上 ◇当地域における救急搬送のカバー率 60%以上 ◇救急受入体制強化のための人員配置
(4) 診療科の充実	◇山城南医療圏における疾患別カバー率の向上 ◇脳神経外科医増員 ◇整形外科医増員 ◇回復期リハビリテーション病棟開設（令和5年4月）
(5) 医療機器の整備	◇計画的な医療機器等の整備・更新 ◇計画的な建物設備の整備・更新 ◇高度医療機器の導入の検討（ロボット手術等）
(6) 職員の意識改革	◇医療の質の向上 ◇働き方改革の推進 ・業務効率化（ICTの活用）の推進 ・タスクシェア・タスクシフトの取り組み ◇超過勤務時間の削減（R3年度対比10%減） ◇患者サービスの向上（待ち時間短縮・接遇向上等）

※1 総収支比率 = 総収益 / 総費用 × 100(%)

※2 営業収支比率 = 医業収益 / 医業費用 × 100(%)

## 2. 経営計画の進捗状況

(令和5年9月末現在)

○ 達成、△ 現在進行中、※ 以降に実施を目指す事項、⇒ 前年度の状況を継続

施策	目標年度			備考
	4年度	5年度	6年度	
(1)経営の安定化	-	-	-	
◇延入院患者数 年間10万人以上（最終年度目標：回復期病棟含む）	△	△		・令和4年度実績 延入院患者数81,897人 ・令和5年度上半期 延入院患者数41,792人
◇病床利用率向上への取組	△	△		
◇総収支比率 100%以上（営業収支比率 100%）	△	△		令和4年度 ・総収支比率 104.5% ・営業収支比率 94.0%
◇職員の適正な人員配置（給与費率55%以下）	△	△		令和4年度 ・給与費率 58.0%
(2)地域連携の強化	-	-	-	
◇診療依頼を断らない体制の強化	△	△		
◇紹介率・逆紹介率の更なる向上 （地域医療支援病院としての役割の更なる推進）	△	△		・令和4年度実績 紹介患者数10,155人、紹介率71.7% ・令和5年度上半期 紹介患者数5,412人、紹介率74.5% ・令和5年8月紹介受診重点医療機関の指定
◇地域の医療従事者研修の充実	△	○		・地域の開業医向けに感染対策研修を実施 ・地域の開業医向けにオンライン症例報告会の開催 ・認定看護師による地域医療従事者へのオンライン研修
(3)救急医療の充実	-	-	-	
◇救急受容率の向上の取組	△	△		・平日時間内応需100%を目指す ⇒令和4年度実績95.5% 令和5年度上半期実績97.7% ・夜間、休日含む総受容率 ⇒令和4年度実績80.1% 令和5年度上半期実績82.8%  ・相楽中部消防と救急症例検討会を定期的実施(精華消防もR4年8月から参加)
◇救急受入体制強化のための人員配置	△	△		・専任の常勤医師1名の配置及び非常勤医師(時間外)による応援 ・救急認定看護師の配置

施策	目標年度			備考
	4年度	5年度	6年度	
(4)診療科の充実	-	-	-	
◇地域完結型医療に向けた取組 ・山城南医療圏における疾患別カバー率の向上	△	△		<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん・難病・透析・医療的ケア児等、当院で担うべき対象患者を中心とした訪問看護の継続</li> <li>・新型コロナ重点医療機関として、山城南医療圏域における新型コロナ感染患者対応の継続（コロナ専用病床における入院対応及び発熱外来等）</li> <li>・コロナ後遺症外来の継続</li> <li>・京都府周産期医療ネットワーク事業への参加（府内の関係医療機関がネットワークを構築することにより周産期医療の質の向上を図る）</li> </ul>
◇医師が不足する診療科について増員に向けた取組	△	△		<ul style="list-style-type: none"> <li>・整形外科1名増員し3名体制へ</li> </ul>
◇回復期リハビリテーション病棟開設（令和5年4月）	△	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・回復期病棟 令和5年度上半期延入院患者数3,726人</li> <li>・脳卒中相談窓口を設置</li> </ul>
(5)医療機器の整備	-	-	-	
◇計画的な医療機器等の整備・更新	△	△		<ul style="list-style-type: none"> <li>・手術部門システム更新(R4)</li> <li>・デジタルX線テレビシステム更新(R4)</li> </ul>
◇計画的な建物設備の整備・更新	△	△		<ul style="list-style-type: none"> <li>・手術室空調設備更新(R4)</li> </ul>
(6)職員の意識改革	-	-	-	
◇医療の質の向上 (医療の質及びホスピタリティーの向上等)	△	△		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員に対する各種研修の実施</li> </ul>
◇働き方改革の推進 ・業務効率化（ICTの活用）の推進 ・タスクシェア・タスクシフトの取り組み	△	△		<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤怠管理システム導入に向けた取り組みの開始</li> <li>・医師の時間外労働時間の上限をA水準（年間960時間以下）として運用予定</li> <li>・医師から診療技術職へのタスクシェア・タスクシフトに向けた体制構築への取り組み</li> </ul>
◇超過勤務時間の削減（R3年度対比10%減）	△	△		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各所属長において、職員の時間外勤務時間の把握、分析を行い、超過勤務時間の縮減に努めている。</li> </ul>
◇患者サービスの向上（待ち時間短縮・接遇向上等）	△	△		<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院内外来及び病棟デイルームにWi-Fi設備設置（令和4年6月）</li> <li>・令和5年4月病児・病後児保育室（おひさま）開設（木津川市と共同運営）</li> <li>・職員の接遇対応向上を目的とした研修会の定期的な開催を継続</li> </ul>

### 3. 令和5年度 上期経営状況（4月～9月）

#### (1) 収益的収支

（単位：千円）

	5年度上期 (4～9月)見込	4年度上期 (4～9月)実績	前年比
事業収益	4,255,719	4,214,452	41,267
うち入院収益	2,480,225	2,215,475	264,750
うち外来収益	1,308,091	1,297,437	10,654
事業費用	4,196,438	4,013,182	183,256
うち給与費	1,989,956	1,932,043	57,913
うち材料費	1,159,755	1,100,717	59,038
うち経費	637,226	639,625	△ 2,399
経常損益	158,915	255,256	△ 96,341
特別損益	△ 99,634	△ 53,986	△ 45,648
純損益	59,281	201,270	△ 141,989

#### (2) 患者数

（単位：人）

	5年度上期 (4～9月)見込	4年度上期 (4～9月)実績	前年比
外来延患者数	68,016	72,132	△ 4,116
入院延患者数	41,792	39,029	2,763
新入院患者数	2,969	2,876	93
総紹介患者数	5,412	5,070	342
うち初診紹介患者数	3,928	3,648	280

#### (3) 職員数

（単位：人）

	5年度上期 (9月1日時点)	4年度上期 (9月1日時点)	前年比
医師数	66	66	0
看護師数	249	245	4
医療技術職員数	100	87	13

※職員数には会計年度任用職員(フルタイム)を含む



